

日光総合会館検討専門部会会議録

件名	第五回日光総合会館検討専門部会		
日時	令和元年9月30日(月) 10:00~12:00	作成日	2019年10月4日
場所	日光行政センター 2階視聴覚室	記録者	資産経営課 齋藤
出席者			
<日光市> 上中副市長 安西財務部長 小林資産経営課長 星公共施設マネジメント係長 資産経営課公共施設マネジメント係職員		<専門部会メンバー> (出席部会員、アドバイザー名簿別紙) (敬称略)	
議事内容			

■配布資料

第五回日光総合会館検討専門部会 資料1、資料2、資料3

■議事録

1. 開会 ~安西部長~

2. 部会長挨拶

「皆さんおはようございます。今日は第五回になりまして、延々とやってきた訳ですけれども、一応今日の第五回でこの専門部会の方向性と言うか、大体の結論が得られればと思っております。市の方から提言書の案と言うのも出されておりますので、それを検討いただいて良いかなと思うのですが、それと合わせまして今日はよろしくお願ひいたします。」

3. 議事

○部会長

「それでは、部会長として議長役を務めさせていただきます。よろしくお願ひいたします。
 まず今日の出席状況ですが、今2名程みえていないのですが、欠席ということではありませんので、14名出席という事で、定足数に達しておりますので会議は成立いたしますので、早速始めたいと思います。議事に入る前に、本日、傍聴の申出がありましたので、これを許可したいと思います。意見はございますか。意見がないようですので、傍聴を許可するという事でよろしくお願ひいたします。
 それでは、これより会議次第に基づき議事に入ります。本日の主な議題は前回の会議に引き続きまして、「(1)の当該地の具体的事業内容の検討について」ということとでございます。あと、2つ目に提言書の案がでございます。それでは、まず(1)の当該地の具体的事業の検討についてということで、事務局の方からご説明よろしくお願ひいたします。」

・・・事務局より資料1、資料2の説明。

「それでは、具体的事業内容の検討について、ご説明いたします。

前回までの会議の中で、総合会館跡地に、駐車場機能、ホール機能、その他の機能を併設するパターンとすることで確認したところですが、本日は、これまでの総括ということになります。施設の規模や整備手法などについてご検討いただきたいと思います。

まず、資料1①と②は、これまでに提示してまいりました駐車場と会館の利用状況や整備費用等について、それぞれ1枚に整理したものになります。

おさらいの意味を含めまして、ポイントのみ簡単にご説明いたします。

資料1①は、駐車場機能についてとなります。

一つ目のポイントは、二社一寺に近い第1駐車場の利用率が高く、第2・3駐車場は、特に、繁忙期と閑散期の差が非常に大きくなっています。

次に二つ目のポイントとして、右側のページの黄色い枠の二つ目の●に記載してありますとおり、一日の最大利用日が500台を超えるのは、5月と1月になっており、一日あたり200台を超える利用がある日は、年間91日となっています。1日あたりの利用を2~3回転していると想定すれば、最大台数を考

慮しても200～250の駐車台数が確保できていれば、現状の利用台数には十分に対応可能であると考えられます。

また、駐車場のタイプ別に駐車台数と整備費用、40年間のランニングコスト、年間収入見込みなどを一覧表として整理いたしました。この中で、表の一番右側になりますが、年間の収入見込み額から整備に係る費用を何年で回収できるか、目安として記載をさせていただきました。

次に資料1の②ですが、こちらは、ホール機能について、になります。こちらポイントのみ簡単にご説明いたします。

一つ目のポイントは、各年度において、大ホールの利用は、8割から9割が200名以下となっており、特に近年は、半数程度が20名以下の利用にとどまっています。また、大会議室についても200人以下の利用が8割から9割となっています。

二つ目のポイントは、その利用内容の6～7割が、大会等の準備・リハーサル・各種練習となっており、大人数が利用するイベント等は全体の1割から2割にとどまっています。

また、事業費については、収容人数に応じて、先ほどの駐車場と同様、整備費用や40年間のランニングコストを試算しましたが、収入が期待できる施設ではないため、整備費用を回収するための年数については、特に計算はしてございません。

次に、A4横置きの上に③と記載のある資料についてですが、こちらは、駐車場とホールの整備費用を規模区分ごとに整理したもので、例えば、駐車場を3,000㎡の平面の場合で、ホールが200人以下の場合は、整備費用の合計が0.3億円足す6億円で、6.3億円となります。なお、こちらについても年間収入見込みから整備費用を何年で回収できるのか、試算したのもも記載しております。

次に、資料2になりますが、これまでのご意見や資料1の利用状況、整備費用などから、議論のポイントと市としての考え方を整理いたしました。

まず、駐車場については、資料1で説明したものの他、三つ目の矢印になりますが、立体駐車場を整備した場合でも、土日等と平日の利用台数の差が大きく、駐車可能台数の増加に比例した収益増につながらないということ。さらに、下から二つ目の矢印、立体駐車場を整備してしまうと、ランニングコストや建物解体費用等の負担がかかるとともに、社会環境の急激な変化に柔軟な対応ができず、むしろ、一番下の矢印になりますが、閑散期における施設効果を高めるという視点でいえば、平面であれば、イベントやフリーマーケットなど可変性、汎用性を活かした利用が可能になります。

これらを総合的に判断すると、駐車場機能については、現在の駐車台数の1.3～1.5倍とすることを前提に、4,000㎡を基準として多機能かつ多様性のある利用を可能とする平面駐車場としてはどうかと考えたところ です。

次のページをお開きください。

ホール機能については、一番上の矢印になりますが、収益性が見込めない施設であり、規模を最小限にしても整備費用が高額になってしまうことから、収益性のある施設等との一体的な整備などが必要となり、現在の利用実態に即した規模とすることが望ましいと考えています。上から4つ目の矢印になりますが、4～500人規模のホールは、整備費用が高額となる半面、利用実績が低く、費用対効果が低くなることが予想されます。さらに、各種練習やリハーサルが6割を占め、また、200人以下の様々な会議が数多く開催されていることに鑑みれば、多用途、多目的に活用することで、利用率や稼働率の向上に期待が持てる結果となります。

そのため、市としては、ホール機能は、200人程度の規模でパーテーションなどで区切ることにより多用途に活用できるような施設が望ましいのではないかと考えます。

なお、次のページにその他の機能について、委員の皆さまからご提案のあった関連整備施設をお示しいたしました。これらの施設をこの敷地の中に、ホール機能の施設と別に整備することは、費用面でも面積の面でも難しいのではないかと判断し、市としては、これらの施設のうち、この跡地に整備するには、現実的に難しいと思われる施設や周辺の店舗等に影響がありそうなものも含まれていることから、そのような施設を削除した上で、ホール機能の施設の中に可変性を持たせて、多様性に富んだ使い方をすることで、その他の機能を実現することが可能になるのではないかと考えています。

以前、専門部会の中で皆さまにもお話ししましたが、皆さまからのご意見を踏まえ、より詳細な形で2回目のサウンディング調査の必要性があると思います。できれば、その他の機能については、絞り込んだ関連整備施設を事業者に提示することで、サウンディング調査の中で、ホール機能施設の多機能、多様性を充実させていくことができるものと捉えております。

これまでお話ししたことを全体的に整理しますと、最後のページになります、全体バランスを考え、物理的な敷地活用の許容範囲やコスト、効果的な規模を組み合わせ、平面駐車場200～250台を確保し、200人規模の多目的、多用途のホール・集会機能を持つ施設に付帯機能を併せ持つ施設を整備することが必要ではないかと考えたところ です。

また、その整備手法につきましては、以前からお話しいたしておりますとおり、市が直接実施することによるデメリット、すなわち財政的な負担や斬新なアイデア、ノウハウについて民間の力を活用する公民連携により実現することが望ましいのではないかと思います。

今回ご提示した市の考え方は、あくまでも、これまでのご意見や現状の利用状況、今後必要となるであろう費用等を勘案した上で、市として整理したものです。子や孫たちに過大な負担を押し付けることなく、多くの人に利用される施設、周辺の景観や環境に配慮した上で賑わいを生み出す施設を整備していくことが求められるのだと思います。委員皆さまそれぞれに、ご意見等はあるかと思しますので、市が整理したものを、本日の議論のポイントやたたき台とした上で、皆さまとしてのご意見を整理していただければと思います。よろしくお願いいたします。」

○部会長

「ありがとうございました。市の方で今用意されました資料につきまして、簡単に説明があったのですが、まず、資料自体につきまして、ここが不明であるとか、ありましたら質問等よろしくお願いいたします。市の方のある程度の提案みたいなものも出てきたんですけども、それは、我々の今までの議論を踏まえてのことなんですけれども、これらを元にして、本委員会としてどうするかというのは後でご意見を伺いたいと思しますので、資料自体について何か質問があればよろしくお願いいたします。」

○部会員 1

「検討委員会自体が総合会館跡地のことについて進めてきたと思うのですが、私の個人的な考えからすると、会館等をあの場所に造る必要はないのではないかと最近ちょっと思い初めてきてまして、旧日光地域のどこかにあれば住民は納得できると思う。それと、ホールの部分の人数が200人と言う数字が出てきているのですが、例えば200人位のイベントが一番多いと言うデータが出ていますけれども、あの規模があるから200人で使えるということになると思います。例えば200人規模のホールの場合に実際イベントとして使おうとすると、100人ちょっと超えた位のイベントが一番多くなってくると思う。そんなことを考えると400～500人入るホールがないと、200人規模のイベントは出来ないと考えます。後、今市のニコニコ本陣の所にホールがありますけれども、非常に多目的で色々なイベントに使われていて、この間少しお話しを聞いたところ、40数パーセントの利用率があるそうなんです。ただ、舞台とか座席を出してと言うイベントに関しては利用率が低いとのことだった。多目的という所に反対する訳ではないのだが、設備等よくよく考えないと非常に使いづらいものが出てしまうと思います。もう一点なのですが、収益性の部分で利用料金を上げてはどうかと思います。利用料金では焼け石に水状態かもしれませんが、いくらかはプラスになると思う。現在の総合会館等の利用料金は非常に安く使っているのですが、今のことを考えるともう少し高くても良いのではないかと考えております。その辺、これは質問ではないので、意見としてお願いいたします。」

○部会長

「それでは、只今の委員の位置の問題、規模とか料金とかあったのですが、それらは、位置の問題については我々はあそこの場所で整備していくと言う方向性が出ておりますので、その方向性で行きたいかなと思っております。あと、規模とか料金は、またこの後で資料に基づきまして、この部会としての多数と言うか、方向性はどうかと言うところで議論したいと思しますので、資料自体について、市の方から説明があったのですが、その辺で何か不明な点などあればお願いいたします。」

○部会員 2

「一つ質問なのですが、今、年間のお客さんが満杯になる日は91日という話が出ましたけれども、これはどういう風な形で割り出しているのか。」

○事務局

「年間200台以上利用した日が91日と言うのは、実際の利用実績をカウントした日にちです。第二、第三駐車場に関してということです。」

○部会員 2

「第二、第三駐車場に関してという事ですが。結局、第二、第三駐車場については、そうなのかもしれないけれども、今の観光客がこの日光に来る状況を見れば、土日祝日、連休になるともの凄い混み方をしている。実際問題として、東照宮の駐車場が職員の駐車場まで含めると、270台位で、輪王寺については、職員駐車場で使っているところを観光客用に使って、130台、そういう事で大体400台プラス、大型バスとか中心だが、小型車30台位で、430台位入るような状況下になっているのだが、ところが、それであったとしても、結局のみ込めないで、例えば神橋から長い車の列が出来て、何時間も待っているよ

うな状況があるので、では逆に今度は神橋から左側の総合会館側の方の道には行かないで、じっとお客さんがだまって待っている訳です。そうではなくて、総合会館のところ、今250台位とおっしゃっていましたが、実際はもっと入るような造り方が出来るのではないかと私は思っているのだけれども、400台位は。それでのみ込めれば、少なくとも神橋から天理教位までの間の駐車台数と言うのはそこでのみ込めると言うような形はとれるのではないかと思っている。だから、少なくとも、今、市の方針としては、ホール機能も併設してと言う話もできましたけれども、ここはあくまでも、社寺参拝者が利用して、そこを賑わせるための、所謂バッファゾーンの考え方として、私どもとすれば、そういう考えである。そんなところで、もう一度再検討し直していただければ良いと思っている。東町については、段々整備されて、駅から歩いてくる観光客等で賑わっていますが、神橋から先については、そういう意味では、あまり賑わっておりません。その辺のところを考えてみれば、一番、社寺からすれば、あそこの駐車場の機能を充実させれば、いっぱいお客さんが来て、あそこも賑わうような形がとれるのではないかと私達としてはふんでいる訳です。そのような訳で、そこら辺のところ、再検討をお願い出来たら有難いと考えている次第です。」

○部会長

「ありがとうございます。駐車場機能等につきましては、これまでもずっとやっている議論でございます。それを再検討するという事をご意見として出たのですが、それは出来ません。これはずっとやってきたことでございますので、あそこの場所で駐車場の機能とホール機能とその他の機能をやっていくという方向性が出ておりますので、それをひっくり返すという事は、出来ないかなと思っております。駐車場機能をどのような規模にするかと言う所で、これから議論をですぬやっていく訳でして、やはり議論は積み重ねでございますので、そここのところはご容赦いただければと思います。」

○部会員 2

「それについては、皆さんの意見の結論で、そのホールの併設という形になったのですか。」

○部会長

「そうです。」

○部会員 2

「これは、挙手か何かで決めたのか。」

○部会長

「これは意見があるかどうかで決めましたので。皆さんの賛同を得ておりますので、それを元に戻すと言うのは、不可能でございます。」

○部会員 2

「私はそこは全く理解出来ていなかった。少なくともそれに関しては、決をとりましょうということで、駐車場機能なら駐車場機能だけ、あるいはホールも併設という意見で、皆さんが結論を出したとは受け取ってなかったのですが。結論を出したのですね。」

○部会長

「そうです。あそこの場所をいかに有効に使うかと言うことでございますので。これは市民の大切な財産です。これは市民でも色々な意見を持った方がいらっしゃいますので、やはりその多数で皆さんの意見を吸い上げて結論を得て行くと言う形になると思うのです。ですからその辺はご容赦いただければと思います。」

○部会員 2

「では、私達はほとんど関係なくなってきたと言うことだ。」

○部会長

「これは、市民皆のもので、その辺はご容赦、ご理解いただければと思います。」

○部会員 2

「先程の部会員の意見にもあったような、ホール機能は他の場所でも構わないのではないのか、そういう意見も出たのではないのか。」

○部会長

「はい、それはございます。それが、提言書等の所には入っているのですが、結論としては、あの場所に色々な機能を持たせると言う方向で皆さんの意見は一致しておりますので。」

○部会員 2

「少し待ってくれ、全然一致していないのではないか。私は一致していない、そんなことに了解していないし、二社一寺は全然納得も理解もしていないのであって、それはおかしい話ではないのかと思って。いつ決めたのか。」

○事務局

「前回の会議の中で、あそこの跡地をどのような形で整備をしていきたいと思いますかと言うところで、検討させていただきました。その中では、色々なパターン、それまでに出ていた話としては、駐車場ですとか、ホール機能ですとか、後は皆さまのご意見の中で、色々な関連するような施設を整備してはどうかと言う話が出てきたなかで、あそこの跡地に駐車場だけにした方が良いのか、駐車場とホール、集会機能だけにした方が良いのか、その他の機能を合わせ持たせた方が良いのか、そういったことを色んなパターン化しまして、前回会議のなかで、どういったパターンがあそこの活性化ですとか、その利用状況ですとかを考えた時によろしいのでしょうかという中で、この専門部会のなかでは、そのパターンについては、一つの方向性として、一つに決めようということ、会議の中では一つになったと言う風に事務局としては理解しておりますし、色々なご意見、ご議論はありましたけれども、あくまでも専門部会としては、機能として、駐車場機能、ホール、集会機能、その他の付帯機能というパターンで、あそこを整備する形で具体的な規模とかを今後検討していきたいと思いますという事になったものですから、その流れのなかで、今回は規模ですとか整備手法というものを提示させていただいているところでございます。」

○部会員 2

「よく分からないが、要するに前回そういう風に決めたのですね。」

○事務局

「はい、前回の会議でございます。」

○部会員 2

「ということは、私達が欠席していた時ということだ。それでは、私はもう議論の余地がないということなので、退席させていただく。」

○部会長

「少し振り出しに戻りましたけれども、事務局から説明があったことに関して何かございましたらどうぞ。」

○部会員 3

「資料1の①の駐車場につきましては、皆さんそれぞれ、ご意見申し上げて今日まで至っている訳ですので、駐車場については、私は了とするという事ですが、資料②のホール機能について、5年間の統計、利用実績が重々理解はする訳ではありますが、現在の総合会館につきましては、ここにありますように、大会議室、ホール、小会議室の利用状況がここに掲載されている訳ですが、資料2のなかに、200人規模ということが明記されている訳でありますけれども、先程説明のなかで、利用するにはパーテーションで区切って利用したら良いと言うご説明もあったのですが、この200人と言う規模は立ったままなのか、それとも、ただの平のイスに座った200人なのか、机を並べた状態での200人なのか、その辺で変わってくると思うのです。そこら辺で、まずお聞きしたい。」

○事務局

「市としての想定と言うか、考えていたところでは、起立状態の200人と言うスペースは考えてございません。利用の200人と言うのは、ある程度、机等を置きながらの200人と言うこと、会議室がそうなるかと思う。ホールの方はイスだけになろうかと思っておりますので、厳密に机を置いて200人とか、椅子を置いての200人とか、その部分はそこまで具体的に細かいことは考えていなかったが、少なくとも起立状態ではない、起立状態であれば、それこそ、すし詰めになれば、イス席にすると100人も入れないような状態になってしまうと思うので、そこまでは考えていないですが、もう少しだけた言い方をしますと、考えていたのは、8000㎡という土地の中に、駐車場を半分位の4000㎡使ったとすれば、今の建屋が3000㎡位で、日光行政センターが1500㎡位なのですが、そうすると、1500㎡位の建屋の中に、その他の機能をどう持たせるかによって、200人規模と言いつつ、それが、200、300

と規模としてはずれるかもしれないですが、そういった形でという風なものが、実は事務局としての全体のイメージになります。ですので、起立状態と言うよりは今の会議室、ホールと言うことを考えれば、小さいテーブルを置きながら、200人入れるものが造れば一番良いかなと思いますけれども。」

○部会員 3

「立った状態だと、200名だと、今日の会議室でも済んでしまう訳ですから。やはりテーブルを置いた中で、ゆったりとして、会議とか講演であるとか、いろいろありますよね。そういったものを含めると今日までの、先程他の部会員さんからも意見がありましたように、色々な会合の中ではテーブルを出して、200人以上集まる時がある。様々な会合、文化祭、成人式等、まあ成人式は年に1回しかありませんが、そういった諸々を含めると、やはり200人では、今日までの皆さんから出た意見と言うのは、大体ニコニコ本陣位の収容規模を持った中で、造っていただければと言う話を発してきた訳ですよ、そうするとやはり、300人からの規模がないと、日光地域のなかで色々イベントをやったりする時の使用をするというのは、なかなか、他行ったら良いのか、今市の文化会館使えば良いのではないかと言うご意見もあるかと思いますが、やはり、日光地域の方は日光地域でそれぞれの行事をやりたいと言う意見を持っていると思うのです。今日までもそういった意見が、200人で良いですよと言う意見は出ていなかったと思うのです。そういった意見も考慮したなかで、是非300人以上の収容人員を持てるホールと言うものを兼ね備えたなかで造っていただけたらと、私は思っている訳ですけども、これは、皆さんもそういう意見を持っていると思うので、その辺もう一度市の方のご意見をいただければと思っていますところですよ。」

○部会長

「今、部会員3の方から規模等の問題、あるいはホールと言う物のイメージですが、ホールとして兼ね備えなければならないものは何なのか。多機能とホール自体のこともありますので、それはちょっと後の議論の方に譲って、まず、資料自体で何かございましたら。」

○部会員 4

「資料1の③の方にパターン別のもので、組合せによるA、Bの概算、Bとして、パターン組合せの年間収入見込みと言うものが書いてあるのですが、実はこれプラス、これは単年度になろうかと思うのですが、当然、ここには、資料1①、②にありますように、40年間のランニングコストというものが入ってくるので、これを単純に40年間のランニングコストを40で割った金額が各項目にプラスになってくると思うのですが、その辺確認したい。そうすれば、単年度にすれば、40分の1がここにプラスになってくるので、もう少し増えますよねと言う考えでよろしいのか。」

○事務局

「まさしく仰る通りです。ここでは、イメージを簡単に整理するということで、整備費用だけ、所謂インシャルコストだけに限った形で整理させていただきましたけれども、今委員からお話がありましたとおり、単年度ベースで言いますと、ランニングコストなるものが、ここにプラスαで毎年毎年かかる見込みになってくるという事です。」

○部会長

「それでは、資料自体についてはよろしいですか。出来れば、後ろの方の資料と私達のある程度の方向性と言うかを出したいものですから。それでは、ここでアドバイザーの先生方から議論に入る前にご意見、アドバイスいただければと思います。よろしく願いいたします。」

○山本アドバイザー

「一旦元に戻って、国立社会保障人口問題研究所の人口データを見てみたのですが、日光市の場合、2030年のあと10年後と20年後を見るとですね、そのデータの生産年齢人口が15歳から64歳までになっているので、今15歳の方が生産年齢にはならないので、あそこに出ているなかでも20歳前後かなと、20歳から64歳が生産年齢で、そうすると、単純計算なのですが、65歳でも頑張っている方も居ますが、一応65歳がとなると、実は生産年齢が2030年に1.1人で高齢者一人を支えると言う形。それを子供達入れると、0.8人になってしまう。それが2040年になると、人口が減ってきますので、生産年齢20歳から64歳の方が、0.86位、お子さん入れると0.7となってしまいます。そうすると、場合によっては、3人で2人を支えなくてはならない状況なので、それだけ、扶助費もありますので、財政的な難しさもあるので、その辺も踏まえて先程あったように、子、孫世代に過度な負担をしないなかで、やはりその中で、何を残して、何を諦めるかなのだと思います。そうは言っても諦めきれないものが山ほどありますので、それはどうするのかと言う工夫をしていかなければならないと思うのです。そうすると駐車場のなかで、最大の効果を高めるのはどういう物かと言う事と、過度な維持費とかランニングコ

ストを考えなくてはならない。それからホールで言うと、今は、結構多いのは議場ですね。市議会の議場まで年間4回の定例会以外はもっと利用出来る形にしましょうと言うことで、段差をつけずに平面的にしてそこを利用する会議室も増えている。それから色々な部屋を、先程も話にあった、多目的、多機能に使うと言うことで考えている動きが凄く多いです。と言うと、どういう事かと言うと、例えば、メインが100人とか200人とか使えるのだが、そこを広げれば、例えばロビーとかも一体として建物全体として使えば、300人は使えると言った工夫も設計上はいくらでも出来ると思うので、そういう工夫をしながら、選んだ方が良いかなと思っています。現実にある程度の必要なホールの規模とか、駐車台数があるので、それをどういう捉え方をするかと言う形だと思っているので、具体的などころで、そういった設計と言うのはどんどんやっているケースが多いので、それを考えていただければと思います。」

○西尾アドバイザー

「私も先程の部会員のご指摘の点、気になっておまして、やはり、コストと収入と両方見た時にどうなのかと言うことの視点が非常に大事なと言う風に思いますが、例えば、資料1の①の右側の表の中で、このなかで、ちゃんと40年間のランニングコストを試算されている。整備費と初期投資とランニングコストAとBを足すとLCCと言う欄があって、このLCCと言う欄が初期投資とランニングコスト合わせたトータルの40年間に掛かる経費かなと思います。なので、このLCCと書いてあるところの額を40で割ると、1年当たりの費用が出ると思います。それと1年当たりの収入の見込額というのを比較していくと言う視点が大事なと言う風に思いますが、そうすると、私の方でざっと計算してみたのですが、駐車場の場合、1の平面の場合ですと、1年当たりの費用は1,275万円になりますので、年間収入の半分位のコストという事で、収益施設と言う話があったと思いますけれども、正に儲かる施設になってくるのかなと思います。ところが、2、3、4のケースになりますと、それぞれ計算すると、年間の収入の見込み額よりも、コストの方が少し高いと言う状況になってきますので、立体式にすれば、それだけ、初期投資もランニングコストもかかると、その結果として、収益施設ではなくて、費用の方が余計に出て行く施設になる可能性があるという事は、ちょっと考慮しておく必要があるのかなと思います。当然収入の見込の仕方の想定のお考えが一番下の囲みの中に書いてありますが、現状の2倍が最大収益として想定していますので、現状の2倍以上の収益が得られるのであれば、もちろん収支の状況と言うのは変わってくると思いますが、収支の見込がこの通りだとすると、そういう費用が上回ると言う可能性もあるという事は、考慮しておく必要があるのかなと思います。

同様に資料②のホールの方もLCCと言うところに着目してみたいと思うのですが、これも40年間で割りかえてみると、ホールの場合は収入が年間166万円しか見込めないと言うことですので、ほとんど全てが税金での負担と言うことになると思います。利用料金では、収支が見込めないで、ほぼ全てを税金で市民で負担していくと言う風に見て行く必要があるかなと思います。これは、200人規模の場合ですと、13億1千万円と書いてありますが、40で割ると、一年当たり3275万円という事になります。同様に300人、400人、500人という事になってきますと、大体2倍、3倍、3倍強と言う形でコストがかかってきますので、年間あたりそれだけ皆さんで税金で負担していくということで良いかどうかというが、先程の議論の200人の規模で良いのか、400人の規模で良いのかという事になる。400人の規模にすれば、年間3275万円の負担が9725万円まで、約3倍近く上がっていくということになりますので、やはり費用対効果と言いますか、当然大きな施設の方が良いと言うことではあると思いますが、それだけ負担の額も大きくなるという事を踏まえて検討していく必要があるかなと思います。」

○部会長

「ありがとうございます。それでは、先生方からこれから我々が具体的に検討していく上での注意点とか、留意点とかがありました。それでは、具体的にしていきたいと思うのですが、市の方で用意しました資料2に基づきまして、これから議論をしていきたいと思うのですが、先生方からの先程の留意点等も踏まえて、まず、駐車場の方からいきたいと思うのですが、その辺でご意見等いただきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。資料2で色々、市の方で7点の矢印がございまして、その結論的に一番下に考えが出ているのですが、その辺につきまして、ご意見等いただきたいと思っています。」

○部会員5

「この駐車場の件なのですが、現総合会館を壊すとすると、今の総合会館は地下がありまして、それをどうするかという事を考えないと、例えばホールをそちら側の場所に造れば、当然地下付のホールとか、もし全て平らにするのであれば、へこんでいる部分も考えているのかと言うのが、一つ心配なところなんです。その分費用が嵩むとかになるのではないかと、ホール機能の地下に、今と同じような地下駐車場にするのも一つの案ではないかと思うのですが、その費用的にかからない方法を考えていただきたいなど。という事は現建物を壊した時の土地の形が全く平らではないというところがあると思うのですよ、だから単純に

は平の方が自分は良いと思うのですが、ただ、今地下になっている部分をうまく使える構造にしないと、余計に費用がかかってしまうのではないかと思います。ですからその辺を少し考慮して考えていただいたらよろしいのではないかと思います。」

○部会長

「その辺の地下の駐車場のことも含めて、事務局どうでしょうか」

○事務局

「今出たお話しは、じゃあこの場でどうですか、市としてはこう考えますというところよりも、地形がそういう風にくぼんでいると言うか段差があるような状況をプラスにとらえるのか、マイナスにとらえるのかということ、一つあるのかなという所は市としては考えています。この後具体的に例えば、市としては平面駐車場にハコと言う考え方でその一つのハコのなかでホール集会機能の他に色んな機能をプラスアルファしていきましょうと言うところで、具体的なサウンディングをかけて、民間事業者の方と色んな話をして、こういったことが出来る、ああいった事が出来るということ具体的に話を詰めて行こうと思っておりますけれども、そういった中で、例えば段差を逆に使ってその他の機能をプラスした方が良いのではないかという話が出てくれば、それであれば、うちでは出来ますよという話が出てくれば、それはプラスの方向で考えれば良い事ですし、逆にここは、不正形のを平にしてしまって、使った方が全体的な金のかかり方としても使い方としてもプラスでしょうという話が出てくれば、そこはサウンディングのなかで色んなご提案をいただきながらやっていければと思いますけれども、逆にこちらの部会のなかで、あそこを金がかかってもあそこの段差はこうやって使うべきとか、あそこは埋めてしまった方が良いとかそういったご意見があれば、それは参考にさせていただきながら、そのサウンディングのなかでも少し話ということにもなっていくかなと思っております。段差を逆にあその高さから見ると川側と言うか、大谷川を見下ろすと、その反対側の山も含めると眺望と言うか景観と言うかあそこは、高さがあるが故に、遮るものがない、川を見下ろす眺望ですとか、反対側の山の紅葉ですとか新緑とかを楽しむ一つの武器と言う風な捉え方も出来るのかなと言うような見方は、事務局内部で少し話としては出たところですので、あの高さ、段差を生かすのか、高い所で平面にしてしまうのかと言う所は、サウンディングですとか、皆さんの今日の意見も踏まえながら少し検討していければ良いかなという捉え方を事務局としてはしているところでございます。」

○部会長

「あの場所は非常に段差があって、その扱い方は非常にこれからの、今現在使っている駐車場の方でもある訳ですよ、ですので、その辺も含めてこれはなかなか難しいことになるかなと思うんですけれども、その辺、駐車場全体につきまして、どうでしょうか。」

○部会員 6

「総合会館がある場所と言うのは世界遺産のバッファゾーンに入っているものですから、恐らくこの近々10年位は大丈夫かもしれませんが、将来的にはあそこの場所は車が入れなくなると思うのです。私達としては、あそこになるべく車を入れないと言う方向で色々活動しておりますけれども、恐らく私達が活動しなくても、そうなっていくと思う。そうなった時に、どうあそこを生かせるか、金をかけないで活かせるかということを考えていけないといけないかなと思います。恐らく、費用の回収年数見ると、ここにいるメンバーはほとんどいないのではないかなという年数なので、自分達がいなくなった後まで負担を残すということ考えると、やはり、あまり環境が変わった時に対応しやすい方向で考えていった方が、逆に負の遺産を残したと、我々が言われずに済むのかなと思いますので。観光客の皆さんがあそこに何を来に来るのかと言うと、やはり自然を見に来る、あるいは社寺を見に来るのだと思うので、あまり大層な立体駐車場なんか建ってしまうと、そういう物を常に見ている方が日光に来るので、何だこれはという事になり兼ねないし、将来自家用車で旅行に行くということがなかなか出来なくなったりであるとか、そこに車が入れなくなった時にただの廃墟になってしまいますので、うまい使い方を我々が考えていかなければいけない責任があるのではないかなと思いますので、これはじっくり検討していただければと思います。」

○部会長

「なかなか、遠い将来のことで、少し想像が難しいところではありますが、基本的には、負の遺産にならないようなものを整備すると言う形になるかなと思うのですが、その辺につきまして、他の委員さん方どうでしょうか。」

○部会員 7

「市の将来的なことを考えると、確かに2層式ですとか、3層式の立体駐車場にすると、駐車場の台数が増えて、その分収入も増えるかとは思いますが、今後車社会がどうなるのかと言うのも分かりませんし、やはり今後、負の遺産を残さないですとか、景観等々、またランニングコストですとか、こういった数字を見ると、やはり、多層階にするよりは、平面のまま、もう少し台数が増えるように整備をいたしまして、今後駐車場機能だけではなくて、色々な活用方法が、平面だと出てくる可能性があると思いますので、私は平面、現状のままで、多層階にしないで、駐車場は整備すると言うようなことが良いのかと思います。」

○部会員 8

「私も平面が一番良いかなと言う風に思っていて、現況の勾配が結構きついのですが、ああいうものをうまく利用すれば、例えば、逆側にスクリーンを置いて映画を見せたりとか、そういったことが出来るといったことを考えると、平面の方が活用の幅として、後々良いのかなと、そして、費用もかからないですし、更に建物の敷地が減る分、駐車場ですとか、その他の活用が出来る可能性が出てくるというところで、平面が良いのかという風に思っております。前回事務局には、検討してみてくださいということでお話ししたのですが、建物から駐車場に向けて屋根をつけられれば、外でのイベント事業等も出来ることもあるのではないかと、そういったものが出来るようになることによって、その駐車場の利用率も上がるでしょうし、そこに人が滞留すると言う仕組みが出来るのではないかとのお話をさせていただいたので、そういったものも検討した上で、更に、西町の方に人が滞留できるような仕組みを駐車場をメインに考えるのであれば、そういったものを造っていった方が良いのかなと言う風に思っています。」

○部会員 1

「2階建てと言うのは、全部2階建てにするという事だと思うのですが、私は一部を立体にするのが良いのではないかと思いました。その一部分が屋根が出来るという事になるので、全部2階建てではなくて、半分とか三分の一の2階建てもありかなと言う風に思いますので、これも意見としてお願いします。」

○部会長

「イメージとしてはどんなものか」

○部会員 1

「傾斜を利用して、一部を多層階にして、地下の駐車場を入れて行くと、ホールの入口に出るとか」

○部会長

「建築上の色々な工夫でなるということですね。後、他にどうでしょうか」

○部会員 9

「やはり、駐車場に関しては、負の遺産を残さないといった観点から、平面の方がよろしいのかなと言う風に感じています。実際今の総合会館の駐車場自体も駐車場としてだけでなく、イベントスペースとしての使われていると言う状態があります。そういった形で実際にまちなかに賑わいを創出していたりと言う現状もある訳ですので、色んな建物を造ってしまうと、それに制約されて用途が狭まってしまうということを考えると、最終的にホールに関しても、駐車場に関しても、多機能化、多目的に使えるということがコンセプトですので、平面にしておいていただければ、後々、様々な利活用方法、新たな活動というものが生み出せるのではないかなと言う風に思います。」

○部会員 6

「似たような意見になりますけれど、昨日まで駅前でクラフトビールフェスタを我々の仕込みでやりましたけれども、イベントをやれるスペースと言うのが、意外と日光は少ない。平面が無いと言うか。やはり、日光はそういったものをやるべき場所だと思いますし、それによって集客できる可能性がある場所だと思いますので、閑散期には色々イベントを開催したりとか、駐車場があり、イベントスペースがあると、結構なお客様が色々なイベントで集まれる可能性があると思うので、将来的にもそういう所が非常に大事な所になってくるのではないかと思いますので、駐車場も多機能化ですよね。色々な使い方が出来る土地ということでやっていただければと思います。また、人の流れを作るという意味では、前に一度話から除外されましたけれども、交通のハブ化ですよね。それが出来れば、人が滞留するようにな

ると、日光の経済にも必ず良い方に行くと思いますので、まあ、今現状の金がない、金がないという状況からやはり我々が動かないとそこは脱却できないので、かつ、いっぱい日光に住む人が増えてくれば、それもプラスになると思いますので、是非将来日光で商売をやりたいと言う人が増えるようなことをやっていくべきだと思いますので、我々の世代が皆で力を合わせてやっていかないと、子どもの世代、孫の世代から笑われてしまうのではないかと思いますので、頑張っていきたいと思います。」

○部会長

「色々な意見が出た訳ですが、一応我々としては、多くの意見としては、平面のもので整備というような方向があります。ただ一部ですけれども、それは、2階で色々工夫をすればより良いものが出るのではないかとの意見もございました。とにかくあの場所は貴重な場所でございますので、あそこの所に多機能の物が出来れば、平面形態のですね。それと、最大限に駐車が可能のような方法を考えるという風な方向でまとめることが出来るのかなと思います。それでは、次にホールの方に、資料2の裏側のですね、ホールにつきまして、色々ご意見をいただければと思います。もう既に何人かの方からホールにつきまして、いくつか意見がございましたけれども、それを踏まえて、ホールにつきまして、よろしくお願いいたしたいと思います。」

○部会員 5

「ホールなのですが、200人と言うイメージなんですが、あくまでも小ホールにしたら、200人と言うイメージで私は捉えていたんですね。平面になった場合もっと広がる。昔の総合会館のように、椅子を壁に貼り付けておいて、出すとひな壇のようになるというシステムが、結構栃木県内の色々な体育館とか施設がありますので、それで延して小ホール機能として200名と言うイメージは持っていた訳ですね。それを畳めば広いエリアが出来て、もっと場所がとれると言うイメージを持っていたのですが、そこら辺市の方の考えはどうなのかと言うところ。」

○部会長

「今のお話しですと、ホールというものは、例えば舞台があつて、照明があつて、音響があつてというそういうものを加味したホールと言うものか。」

○部会員 5

「そういったイメージを私は持っている。今の総合会館を小さくしたもので、しかもイス、ひな壇が壁に収まるというシステムをよく目にしますので、そのイメージを持っていたのですが、市の方としてはそのホールと言うのはただの広い平面だけのものか、そういうひな壇が出てきてステージがあるそういうイメージのものなのかというところを知りたいと思います。」

○事務局

「市の方のイメージとしては、全体的な今のホールの利用状況が、200人以下と言うよりは、大半がもっと少ない人数の利用が多いという事も踏まえまして、所謂、階段状のイス席のホールと言うイメージよりは、平の所での集会機能的なものに、例えばステージは造るけれども、平な所をイメージしていたところでございます。先程他の部会員さんからもお話しでしたが、それでどういった形で200人、机なのか、イスなのかでも、随分広さ的なものは変わってくるかなと思いますけれども、市の方でイメージしていたのは、平らな物をイメージしていたと。それで、所謂多機能性と言うのをある程度発揮できるのかなというようなイメージでした。」

○部会長

「そうしますと、市の方の言っているホールと言うのは、フラットなものとしての形を考えている訳ですね。」

○事務局

「はい、一応そういったことを念頭にはしてございました。」

○部会長

「今の部会員のイメージはミニ総合会館と言ってはおかしいですが、ああいうものの小さなものと言う感じなのでしょか。」

○部会員 5

「というよりは、良く県内の体育館で、普段は平面だけど、壁から出すとひな壇が出てくる。造りも大した

ものではないから、コスト的にもそれ程でもないと思うのですが、そういう仕組みを取り入れたものを多機能化と言っているのかなと言うイメージだったので、そこら辺取り入れてもらえれば、逆に前で色々な演劇とかやった場合に見やすいですし、平らなところより見るよりは良いので、その機能を持ったものを要望したいなと考えます。」

○部会長

「あと、その辺のことも含めまして、他の委員さん方よろしく願いいたします。」

○部会員 6

「現状ホールの機能と言うのは、ほとんど使われていないと言うのが現状だと思うので、恐らく同じようなものを造っても同じことだと思うので、用途転換をしてもらって、場所が場所ですので、観光客とかの受入施設なんかをうまく使っていただくと、非常に良い場所になるのではないかと。先程ハブ化と言いましたが、駐車場の使い方とリンクして、あそこに人が集まるような仕掛けを作っていけば、必ず人が来れば経済も廻りますので、そういう方向の考え方としての多機能化をやっていただければと思います。色々資料で出ていましたけれども、資料2の真ん中のページですかね、我々は表参道のすぐ下と言う非常に良い場所にありますし、景観も非常に良い場所にありますので、その立地とか景観等のメリットを生かした施設。後はお客様の視点ですね、日光に遊びに来る方、お客様の視点を取り入れた活用方法というものと考えていただくと、非常に良い場所になるのではないかと。我々市民が例えばホール機能として使いたいと言う場合は、そういう仕組みもパーティーションで組んでおけば、畳んでしまえば広い空間になると思いますので、そういうことも出来る、あるいは美術の展示をする時にもパーティーションを出せば壁がいっぱい出来ると言うような仕組みとか色々作れると思うのです。前に一度お話ししましたが、富士宮の世界遺産センターの展示方法が非常に感銘を受けたのですが、プロジェクターで壁に映すということをやっている、展示物の交換が一瞬で出来るというものを見て、これはお金がかからなくて良いなと言う風に思ったので、やり方考え方で、お金をかけないで、良いものが造ることが出来ると思いますので、是非市の方でも研究していただいて、あるいは民間から情報をいただいて、良いものを造っていただければと思います。規模的には私は200人位で十分だと思いますので、すし詰めに入ればもっと入ると思いますし、色々使い方出来ると思いますので、あまりお金かけないでやった方が良いのではないかと思います。」

○部会長

「今、お2人の部会員さんからも、市の方の考え方としても、固定式ではなくて、整理ができてしまうものと言うイメージですかね。」

○部会員 5

「自分達で簡単に出し入れできるシステムがあるらしくて、借りた人たちが自分達で引き出してひな壇が出てくると言う箇所が県内の2か所くらいであったと思うのですが、普段は体育館でも使える。イスは通常は壁にしまっておいて、借りた人が引き出して舞台だけあって、使えると言うシステムがあるので、それほどしっかりしたものではないので、それほどコストもかからないのではないかと。そういうものも一部取り込んでもらえたら、色々なものに使えるのではないかと思います。」

○部会長

「ホールに多機能性を持たせるというようなところですね。あとどうでしょうか、他の委員さんから。」

○部会員 1

「年間収入見込みの数字で数億とか数十億の中の160何万なので、恐らくどうでも良い話かと思うのですが、200人規模の物を造ったら、166万円の収入見込みは望めないと思います。それで、例えば500人規模のものでも166万円は超えないと思います。ただ、小さいものですがこれだけしか望めないというのが、私の見方でして、関係ない話になってしまうかもしれませんが、やはり、利用料の部分も考え直すようかなと思っています。」

○部会長

「その辺の規模の感覚で純粋に200人かと言うのと、先程部会員から意見もありましたように、いつも満杯にして200人の規模なのかとか、その辺があるかと思うのですが、その辺に関しまして、他の委員さん方どうでしょうか。」

○部会員 1

「収容人数については、色んな体育館とかホール行きますと、どこかに表示があって、このホールは何人収容ですみたいな表示があると思うんですね。恐らくその数字かなと捉えているのですが、その辺確認したい。」

○事務局

「例えばホールですとかそういった所の収容人数と言うのは例えばひな壇になっているところのイスの数が一般的な収容人数と。あと、固定式のイス席の他に前に可動式で何列か並ぶようなところも含めて多分収容人数と言うことかと思いますが、先程も少しお話ししましたけれども、目安として200と言うのは、現状の利用として、200人以下がほぼほぼ、8～9割を占めているという所で数字として200人と言う数字を出ささせていただいております。まあ、先程も少しお話しさせていただきましたけれども、8000㎡の中の4000とか4500㎡と言う数字を仮に駐車場とした場合、残りの所に建ぺい率ですとかそれ以外のところを考えると、日光行政センターが1500㎡、東武日光駅の駅舎が1200㎡位と言う建屋の中に、その他の機能をどういう風な物を入れるかによって、先程の部会員からも机並べて200にするのか、今お話あった、可動式の階段式にして200にするのか、机を並べて200と言うことは平面じゃないと机は並びませんので、平面として200がとれる数字なのか、収容人数入れて200なのかと言うと、例えば、可動式の階段状イスで200でとれば、椅子をしまって平面にした場合は300人かもしれない、机並べて200というのをベースにすると、階段状にした時は150人かもしれないですよ。その200なのか、300なのかという所は少し、ここで厳密なところを数字として、なかなか事務局も専門家じゃないなかでお示しするのは難しいと思うのですが、市としては、1200なり1500㎡の建屋を造った時にその機能を合わせたところで、最低でも机並べた状態で200人が採れるようなものと言うのは最低でもと言ったらおかしいのかもしれないが、机並べて200人程度が入れば、良いかなというのを基準に民間事業者とのサウンディングのなかで、この後その他の機能のところもご議論いただきたいと思います。そういった機能を持たせると、先程、先生からもアドバイスありましたように、一つのハコを常設としてのホールとしては小さいけれども、全体を使うと300人入るとか、そういった使い方もできるという事も、ご意見としてありましたので、その辺は、ベース200人として、サウンディングの中で少しどういったその他の機能も含めた使い方出来るかと言うことを検討することもありかなというのが、今皆さんの議論を聞いていて、正直感じたところでございます。少し感想みたいな話になってしまっただけで申し訳ないのですが、一応そういったところです。」

○部会長

「そうしますと、最低は200人位で、収容人とかそういうのを考えると、200～300位と言うようなことになる訳でしょうかね。」

○事務局

「そこはサウンディングの話の中で考えられるのかなと。」

○部会長

「それから重要なところで、先程部会員からありました、可動式と言いますか、そういったもので、なるべく多機能性を持たせるという風な方向性で整備していただきたいというようなことになるかと思うのですが、あと、どうでしょう、以前展示とかそういったものに関してはいかがでしょうか。」

○部会員 9

「色々ホールに関しての皆さんの意見を聞いていましたけれども、私達展示として使うスペースは非常に狭いんですね。現状の総合会館の会議室を借りまして、あそこで市の文化祭、例えば、書道や写真、華道等職員の協力をいただいて、パネルを運んできていただいて、そこで展示をしている訳です。これは毎回思っているのですが、現在使っている会議室と言うのは両脇ガラス張りなんですね、これは私達展示で使うという者としては、役に立たないんですね、会議室を半分区切ったパネルに針金なんかで大きな作品をぶら下げたりするのですが、どうしてもギャラリーと言う形にはならないんですね。ですから、今皆さんのホール部分の話聞きながら居たんですけど、これはホールの中にギャラリーを作ってくれと言うのは無理なことかなと思うので、ホールと別の棟とは言いません、壁続きで結構ですが、ギャラリー的な空間を作っただけであれば有難いと思いながら聞いていた訳です。その空間はそれこそ、多機能性であって、パーティーで区切って会議をする時は部屋で区切っていたところで出来ると、あるいは、中央公民館なんかにはありますけれども、厨房は造れるかどうかはわかりませんが、そういうものをつけていただくという、ギャラリー兼多機能のスペースになるのではないかと思います。どうでしょうか。ご留意いただければ有難いですが、とにかく旧日光にはギャラリーがないんです。以前

作っていただいたものはなくなってしまって、杉並木公園ギャラリーを使わせていただいておりますけれども、私達の仲間は13人ですが、大作を持ってくると全然展示しきれないんですね。そういったことを考えるとホールを造る時にそういった展示部分、色々な展示があるんですよ、絵とか書道とか、写真ばかりでなくて、他のものを展示する部門の方々がいるので、そういう場所がホール脇にでもできたらいいなと聞いていた訳です。色々なお話し聞いていて、本当に素晴らしいご意見ばかりで、感銘している方が先でございまして、自分が申し上げるのが気後れしてしまっている状況でございます。よろしく願いいたします。」

○部会長

「ホールプラス、この資料ではまたその次の4番にあるんですが、多機能という、その他の機能なんですね。それで、単純にホールだけと言う風なものでは多分ないかなと思うんですね。その辺は設計の中とか、建築上のところで色々出てくるのかなと思いますけれども、今部会員さんが言われました、以前にも話がありました、そういった文化関係団体等のもものもございまして、その他の機能としては、今委員さんが言われたようなことも考慮すると言いますか、その辺が大切なことになるのかなと思っております。あとどうでしょうか、4番の資料のその他の機能も含めてですが、色々出ているのですが、この辺の整理がちょっとなかなか難しいのですが、市の説明だと、絞りこむのではなくということもあるものですから、これは市の方で3行でまとめてある考えで、ここで、これは絶対というようなことはなかなか無理かなと思うのですが、その辺はどうでしょうか。」

○事務局

「補足させていただいてよろしいですか。」

このその他の機能につきましては、この中から一つ二つ選んでやりましょうと言うのは正直無理だと思うんですね。逆に言うと、ここに幅を持たせておくことによって、民間事業者さんからのある程度良い提案も頂ける可能性も出てくるのかなと言う風にも思っております。先程部会員さんからありました、例えば展示関係の物と言うのは、ホールでも集会機能でも一つのハコを造った中で、一つのハコが一つの面積ということではなくて、中には壁が出来る、エントランスが出来る、そういったことにもなってくるんだと思います。そういったエントランスですとかの壁をうまく使って例えば多機能性を持たせて、そういった展示物が出来ないとか、そういったことも方法論として多分出てくるでしょうし、後は、少し論点がずれてしましますが、今の郷土センターをどう使うかということも話としては出てくるのかもしれませんが、郷土センターの話は一旦おいて置きまして、このその他の機能の部分につきましては、どれかにしましようというのは無理だと思いますが、皆さまから出していただいた意見に対して、事務局からこういう言い方をするのは大変恐縮なんです、一つのハコの中にホール集会機能に合わせた附帯機能として持たせることを前提にした場合、ここに載っているものとして、事務局としては、例えば国際会議場とかコンベンションホールはさすがにちょっと難しいかなと、それこそ、何千人収容と言う形のものになるでしょうから、ここは逆に皆さまの方のご賛同をいただければ、その他の機能として、今回はこの部分は諦めましょうということでご賛同いただければ、ここは落としてしまうと。あと、どうしてもこの機能はあった方が良くということも、もしご意見があれば、集約していただいても結構ですし、必ずというよりは、あった方が良くよねというレベルでもしあれば、良いですし。周辺の施設との兼ね合いで例えばお土産屋さんについては、一義的にどうなんですかねと言うご意見があれば、そういったものも集約していただければですし、第二店舗目として、日光の名産品を集めたようなものを造りましょうというものであれば良いが、そうでないものはどうなのかとか、そういった程度である程度絞り込めるのであれば、その他の部分については、ある程度絞り込んでいただいても結構かなと思います。一番上に記載の世界遺産センターについては、多分色々なご意見ありましたけれども、規模感の話も相当皆さんの感覚に違いがありますし、ここに一言で世界遺産センターと言うことで書いてございまして、実は意見のなかでは、郷土センターに世界遺産センターというお話もあった位ですので、世界遺産センターと銘打つものでもなく、例えば世界遺産を紹介するガイダンス的機能というようなご意見もございましたので、その辺も含みで一旦ここは可能性があるものとして、整理をしていただくということで、お願いしたいかなと。具体的には民間事業者さんとサウンディングのなかで話をしながら、可能性、収益性が出そうなもの等々を検討していくことになろうかと思っておりますので、その辺を含みおきの上、整理していただければと思います。」

○部会長

「どうでしょうか、この4番目のその他機能のところについて、何かご意見等ございましたら。」

○部会員 5

「私は商店連合会の代表で来ているので、やはりあそこは、前会長からも言われているのですが、あそこは観光としてのインフォメーション、そんなものを絶対入れてくれということ言われていました。それ

で、場所的にもやはり観光客が喜ぶようなものをプラスしてもらいたい、それと、私のイメージとしては例えば屋上でも良いのですが、イベント広場逆に言うと、オリオン通りにあるオリオンスクウェアと言うのを皆さんご存知かと思うのですが、大きなモニターがあって、ちょっとしたイベントが出来て、というので、駐車場のところを利用して良いのですが、ポイントはモニターなんです、先程も他の部会員さんもお話しあったのですが、大きなモニターをホール側に造っていただければ、そこに例えば広告収入を、宇都宮の中心の二荒山さんのところに大きなテレビがあって、広告が流れている。そこで収益を上げるようなものを造ってはどうかとちょっと考えてみたのですが、道路や駐車場から見たらモニターがあって、民間業者の広告、コマーシャルが流れているとか、国体の時だったら、そういった企業から広告収入を得て、普段は例えば世界遺産のものを流したり、色々な日光市内のイベントを流して、その合間に広告を流して、その広告収入を市で運用して、このランニングコストの費用を出すのはどうかなと考えたのですがいかがでしょうか。」

○部会員 6

「外国人の、人の流れを見ると言う、私は近所なので、良く見ているのですが。外国人の方、英語以外の言語の方とかは、結構情報を得るのが大変なんです。それをあそこに集まってもらえば、多言語の色々な情報を発信できるというものがあれば非常に良いと思うんです。そうすると外国の方が日光に来て、どこに行ったら良いんだろうと言うのが、まず日光駅前でうろうろしている要因なんです。それを、あそこに行けば大丈夫だよと言うのを情報として流してあげるとそこに外国の方が集約されてくると思うんです。そうするとそこを起点に中宮祠行ったり、二社一寺行ったりとか、色々動いてくると思うので、お客さんいっぱい集まれば、お金が落ちますので、観光の情報の発信を出来る場所。一つだけ英語で作っておけば、自動翻訳のもので出来ると思う。きちんとしたものでなくても、何が書いてあるかわかるというものでも良いと思う。観光協会が今は郷土センターに入っていると思うんですが、意外と観光協会の場所が中途半端な位置にあると私は思うので、やはり二社一寺の近くにあるべきじゃないかと、あるいは、交通のハブ化が出来れば、ハブ化のある場所に観光協会があった方が良いのではないかと。先程郷土センターの話が出ましたが、逆に郷土センターから観光協会抜いて、郷土センターは別の使い方をした方が良いのではないかと思います。せっきやく場所がいいので、観光関連の色々なものがつくれると思いますので、そういったことを考えていただけると良いと思います。」

○部会長

「それでは、4番のその他の機能は先ほど市の方からもありましたように、国際会議場とかコンベンションホールとかと言うのは、これは非常に大変なことなので、一応それはよそにおいてですね、その記載の下の観光情報、インフォメーションセンター、観光客の休憩トイレ、あるいは一番下にあります、日光の情報をとれる施設とか、大きくは観光、あるいは観光情報というもので括ってですね、そういう風な機能が持たせられれば良いなというところでまとめてはどうでしょうか。どうでしょう、大丈夫でしょうか。なかなか、ここにはまた費用の問題がかかってきますので、多額の費用はかけられませんので、その辺で、ただ、あそこの位置は大変重要なので、それをやはり活用するというところでまとめていければと思うのですが。」

○副市長

「その他の機能につきましては、色々ご意見があると思います。先程来説明させていただいておりますように、世界遺産センター、国際会議場、コンベンションホール等は少し次元の違う場で議論しなくてはいけないのかなと言うのが、率直なところでございます。観光情報機能につきましても、先程部会員さんからお話しありましたように、稼ぎながら提供できるような施設というのが、正に望むところだと思っております。それこそ、民間の力によるところが大きいと思います。市として金を度外視することは、今の段階で出来ない、3館集約ないしは、3館の内、2つは廃止しなくてはいけないと言うのが発想の原点だった訳です。とは言え、総合会館がなくなってしまうと、この行政センターの2階がせめて大きな集会施設であれば、納得がいただけたかもしれないのですが、ここが既に出来てしまっていて、こういった状況です。大きな集会が出来ない施設がないというのがこの地域の盲点、欠点だったということもあり、市としてもそこは考慮しなければならぬという発想の転換が生じてきたということが内部としてもあります。ですが、現在の総合会館のミニチュア版と言いますか、音響まで整ったようなそういったものを造るということは、正直言って難しいと思っています。市が直接はもちろん出来ませんし、逆に公民連携で民間が参入した場合に大きくイニシャルコストがかかるものについてはさすがに民間も採算度外視はないので、そこに参入もしてこれないと思います、ただし、イニシャルのあまりかからない駐車場整備が平面で出来て、そこである一定の収入が得られてそういったものを糧にしながら、ある機能の例えば集会施設なりを造って運営していくということが可能であれば、参入する方もいると思っています。そういった期待感があるから、我々も皆さんのご意見に賛同すべき部分が大いにあるなと思っております。話が少し

逸れましたが、その他の機能についても、大きな費用負担が生じるものは非常に難しいという事を前提の上で、提案をしていただければ、有難いと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。」

○部会長

「費用の面は重々わかっておりますので。今の副市長の話で最後のパターンDの方の問題に入っていくかなと思ひますが、その辺で最後にこれをどういう風な整備の手法でやっていったら良いかということで、意見をいただければと思ひます。まあ、その辺のことで、最後のページにつきまして、まず市の方から何か説明がありますか。」

○事務局

「こちらにつきましては、最初の資料の説明で少しお話しさせていただきました通り、上段のところは、駐車場、ホール、その他の機能というところでの総括になりますが、整備手法に関しては、やはり、直営で、市が直接実施するという選択肢はさすがにちょっと難しいかなと。財政的な部分も含めまして、民間の力を借りながら、公民連携という手法のなかのいずれかの手法をと言った方がより正確ですかね。そういった形で、そういったことを前提に検討を進めさせていただければ有難いと言うのが市としての考え方になります。」

○部会長

「その辺につきまして、どうでしょうか。市は資料にありますように3つのパターンで色分けしてありますが、市としては真ん中の方法で、このなかの詳細はいずれにしても、色々あるかなと思ひますけれども、そこまでは踏み込まないで一応公民連携という風なところで、整理出来ればというような考えなんですけれども、その辺についてどうでしょうか。委員さんの方から何かご意見。」

○部会員 6

「一つの意見としてなのですが、長野県がうまくやっているなと思ひて見ていたのですが、着地型ツアー、お客様が日光に来て、日光に来てから色々な体験をしたいとか、こんなツアーに参加したいという着地型ツアーの窓口をうまく長野県と言うのはウエルカムセンター的なものでやっているところがありました。そういうところだと、民間事業者が恐らくお金払っても入ってくると思ひるので、そういうものもうまく活用していくと、恐らく民間のお金を利用しつつ運営をしていくというのは、ある程度可能、全部は無理かもしれないが、一部、それらを寄せ集めてやっていくというのは可能ではないかなと思ひます。」

○部会員 5

「民間と言うのは凄く難しいと思ひますね。民間が何かやりたいから参入するとなると、入るものを認めなくてはならない、この間市の方と話して、球団が命名権と言う話が出て、少し調べたら、例えば日光にそういった命名権で例えば企業さんに看板出すからあそこの費用出してよという場合に日光出身の成功された方の会社とかに、例えばレオン自動機さんは、旧日光ではなく、旧藤原の出身ですけれども、国際的な会社ですから、外国の方がたくさん来るところでアピールしたいというところで、そのレオンさんに命名権与えますからお金を出してくださいとか。これは例えばの話ですけど。調べるとやはり、日光に愛着がある方が社長やられているところとか、そういうところにアプローチしてですね、一部の費用を出してもらふようなことがあれば、民間に頼るのが最小の経費で済むのではないかと。そういう命名権みたいなものも利用してはどうかと思ひました。」

○部会長

「他にどうでしょうか、大丈夫でしょうか。」

それでは、我々としては、本部会としては、一応公民連携というような方向で行くと、ただ、これが市民が使う時に非常に不便になってしまつては、これは非常にまずいので、やはり市民が第一でその利用できるようなものを付加していかないとまずいかなと思ひますね。市民が色々やりたい時に、それはだめだという事になるとそれは困るので、その辺はなかなか難しい問題はあると思ひますけど、一応我々としては、公民連携と、あと、今部会員さんからありました、命名権とか色々、そういう手法も考えられないことはないという方向だと思ひますが。あとその辺につきまして、何かございましたらば。」

○部会員 4

「今、部会長の仰られたことに私も賛成です。それで、色々やり方、方法があるかと思ひています。そういう中で、色々なノウハウを持っている方がたくさんいらっしゃいます。ですから、そういう人をチョイスして、設計段階でワーキング等で、役所の方では当然やると思ひますけど、そういう形で十分意見が反映されるように、例えば、造ったけど失敗した、という事が一つでも二つでも減らせれば、より良

いものが、ベターなものが出てくると思うんですね。ですから是非、そういうところに長けている方を集めてワーキンググループで詳細についてはつめていただけたらと思います。これは意見として、以上です。」

○部会長

「ありがとうございます。今後のこれを具体的に市がやる上での要望と言いますか、検討して欲しいということでした。あとどうでしょうか。」

○部会員 1

「整備手法に関して以外でもよろしいですか。やはり、ホール機能どうしても200という数字が好きになれない訳でして、この集まっている部会員全員200で納得するんであれば良いのですが、ちょっと確認していただければと思います。よろしくをお願いします。」

○部会長

「これはなかなか難しいところで、最低でも200と言うことで、先程整理させていただいたように、200から300の収容人員でと言うようなところでなんですが、その辺いかがでしょうか。300を基準にしようという。」

○部会員 1

「そうですね、私達の団体としては希望するところは400なんですけど、利用率を考える大きすぎるのかなという気もしますので、ここに記載される数字をせめて300、出来れば300以上と書いていただくと、よろしく願いいたします。」

○事務局

「せっかく造るのであれば、大きなものというお気持ちは重々分かるところなんですけど、やはりそれだけ大きなものをベースにするという事は、それだけ多額のお金がかかることをベースにするということになってしまうのかなと思っております。大きなものにすれば、横の面積だけではなくて、高さも出ることになりますので、私も建築の専門家ではないので、詳しいところは何ともいえないですけども、その分、耐震性ですとか、空間がどうかと言うのが、必然的にかかってくるのでこれだけの費用がかかってくると思っております。そういったところも含めまして、市としては200で、そのこのハコの面積の中で収容できる人員が、設計の工夫の仕方ですと200から300位が入って行ける設計をとっていければ良いのかなという風にも思っておりますし、やはり資料1②のところでもお話しをさせていただきましたけれども、金額が相当跳ね上がってしまうところを市としては当然に無視できない、参入してくれる民間事業者さんがいくらでも出しますよと言ってくれると、話は変わってくる部分があるかもしれませんが、まずベースとしては、市の方としては、金額ですとかそういったところも踏まえまして、先程お話しさせていただいた所と言う考え方になってございますので、一応ご理解いただくと非常に有難い部分ではございます。」

○部会長

「それでは、今の意見に関して、提言の方の欄にもあります通り、全く意見が無かったとかそういうような事ではございませんので、これは当然出てくるかなと思って、その辺でご了解いただければ有難いのですが。それでは、この辺で議題の(1)のところは締めくくりたいかなと思うのですが、アドバイザーの先生方からよろしく願いいたします。」

○山本アドバイザー

「皆様のご意見で、大多数で出ているんですけど、今後のことを考えると可変性がキーワードになるし、初期の費用とランニングコストをかけないと言うことをやはり前提にですね、その中でどう使いやすいものにしていくかと言うのが今後の工夫だと思っております。それと、やはり、使うのは今の考えが固定化した考え方、変わる可能性が非常にあるんですね。ICTの世界とかもそうなのですが、スマホになったりとか、急に変わってきますので、色々可能性の変化が出てくるので、それはやはり、今の段階での考えはこうだけど、将来の可変性も考えながら、動くということが大事なかなと思っております。」

○西尾アドバイザー

「本日皆様のご意見が、将来を見越して考えていこうと言う意見がたくさん出ていたので、非常に良いかなと思っております。今山本先生も仰ったように、可変性と言うのが凄く大事なキーワードになっているかなと私も思います。車社会自体も今後どうなっていくかと言うご意見もありましたけれども、これって、もしかすると、遠い将来ではないかもしれないかなと。世界的にはもう車を排除していく都市もあり

ますし。ヘルシンキなんかは2025年までに全部排除する、自家用車のない社会を創るよと言っているので、5年10年先にもうそういった車を使わない観光地と言うのが出てくる可能性があると言う風に思いますので、そういったことも見越しながら、色々とそういった事に柔軟に対応出来ていくと言う視点を持ちながら考えていくという事が大事なかなと思います。

収容人員の話でもですね、皆さんの意見の中でも出ていましたけど、ロールバック式のイスを出した時には200人ですけれど、それをしまえば、300人使えると言う考え方をとれば、今の考え方の中でも200から300と言う規模が対応可能ということも出てくるかなと思いますので、そういったことも含めてご検討いただけると良いかなと思っております。」

○部会長

「ありがとうございます。可動式のイス、ロールバック式というのですね。ありがとうございます。それでは、議題は次の(2)の提言書についてのことで、市の方から説明をよろしく願いいたします。」

・・・事務局より資料3の説明。

「資料3の提言書について、ご説明いたします。

1枚めくっていただきますと、目次が記載されております。こちらでまず、ざっとご説明をさせていただきます。これまでの専門部会でのご意見や施設整備の方向性などを「1 日光総合会館の廃止について」から「4 周辺の渋滞緩和策について」までに内容として整理したものをお示ししてございます。さらに、本日の結果を最後の「5 総括(提言)」として記載していこうと言う考え方になってございます。こちらにつきましては、本日の結果として、その総括の部分を記載したものを後ほど皆様に送付をさせていただきます。本日の議論も含め更に今までの議論も含め、ここに記載してある中身について、この部分はこういう風に修正した方が良いのではないかと、こういったことが漏れているのではないかと、ご意見を改めて、書面なりでご意見をいただくかなと言う風に考えております。その上で、事務局が岸野会長、千田副会長と最終のまとめ方を協議いたしまして、市長に提言するという方向で考えております。ご意見の聴取方法等につきましては、本日の部分を含めまして、改めてご連絡をさせていただきたいと、様式も含めてですね、思っておりますので、よろしく願いしたいと思っております。」

○部会長

「市から送られた提言書の案なんですけれども、色々委員さん方も見られてですね、色々細かい点いっぱいあるかなと、私自身が見ても色々あるので、この場ではなかなか、これを全部やっていたのでは、大変な時間がかかってしまいますし、とても出来ないですけれども、是非ここで言うておかないとまずいなというものがございましたら、願いしたいと思うんですけど。」

○部会員4

「一点だけお願いをしたいと思っております。入れるとすれば、この提言書(案)についての6ページのその他附帯意見の一番下辺りに入れていただければ有難いと思っております。内容につきましては、総合会館が更地になった時に、敷地内に隣接する石碑とか像があります。直接的には建物とかには関係ございませんが、第3回の当会議に提出した各部会員からの意見についての時も関連意見として提出させていただきました。その一つに実は大切な物があります。私にしても、旧日光市民にも大切なものが一つあります。それが何かと言いますと、明治維新の時の神仏分離令によって、日光の社寺が仏様と神様分けなさいと言う社寺の問題が勃発しました。それで、町民、東町、西町640戸が全員立ち上がりまして、それでは私達の死活問題になると言うことで、現在のままにしてくれと言うような形で住民運動が起こったと言うところです。その時の代表的な人達の落合源七さんと巴快寛の石碑が建っております。(資料配布)そういった大切な伝承の碑が建っております。これは昭和41年ですが、日光市と日光市自治会長連合会と有志とかで建立されたものが、今は木の陰になってしまっていて、見えなくなっている状態ということで、総合会館が撤去される時にその碑がどうなるのかというのが懸念されております。実は今世界文化遺産があるのも、こういう方たちの功績があったからこそ、今こういう問題が出ていると言う形なものですから、是非これは然るべきところに、役所として移設をお願いして、というのも付帯事項として入れていただければ有難いと思っております。意見として述べさせていただきます。内容については、今配布させていただいた資料を読んでいただければ、碑文についても名誉市民であります、輪王寺門跡でありました、菅原栄海さんが題を書いておまして、文については、稲荷町一丁目の星野理一郎先生が書いております。そんなことで、非常に大切な碑文がありますので、その移設をお願いしたい。」

○部会長

「はい、ありがとうございます。これだけではなく、他に何かありますか。」

○部会員 4

「他にロータリークラブの碑と少女像の銅像が建っていて、全部で三つあります。」

○部会長

「その辺は十分、市の方でよろしく願いいたします。あとその他いかがでしょうか。」

○部会員 2

「先程来ホールの話で皆様からご意見ご要望が出て、今の状況で行くと、ホールが出来たとしても飽和状態になってしまうのかなと思っておりますので、是非先程来から出ているように、日光地域にも郷土センターの2階が今ほとんど使われていないんですよね。あれは勿体ないと思うんです。郷土センターが出来た時には2階に日光市の産業という事で、日光市で生産されるものをあの場所に展示したんです。日光下駄から古河電工でつくった製品、また日光市内のお土産等、たくさんのお客さんが来て、見ていただいたんですよね。ところが今全く使われていないので、先程あの中の観光協会どこかに移してはどうかと言う話もありましたけれど、やはり、事務局にお願いしたいのは、あそこはもっともっと活用出来るような方策でこれから検討して行ってください。あと、交通アクセスに若干問題があると思うのですが、霧降のスケートセンターの屋外リンクに隣接された、総合会館の最初の説明会を行った場所、あそこもほとんど使われていない。あれだけ立派なお金をかけて造って今日まで来ているんですが、ほとんど使われていないんですよ。屋外リンクが開場されている時に団体客の待合室、隣りが食堂なんです、やはり屋外リンクやっていない時は、ほとんど使っておりませんので、ああいった所も、あそこで色んなイベントを開けば200～300人入るのですよ。そういったことも、先程冒頭申し上げたとおり、交通アクセスの問題はあろうかと思うんですが、ああいった施設もどんどん活用出来るような方策で、事務局としても考えていただければと思います。それと、屋外の駐車場、あそこも以前は日光の物産展とか、色々催し物をやったんですよね、その時にはかなりお客さんが来てくれて盛況だったのです。それが、いつの間にか2回やってやめてしまったんですよね。やはり、そういったここにも記載されておりますように、皆さんから出された要望、そういったものがどんどんあそこで開催される訳ですから、是非そういった面も市の方として開催できるような方策もとっていただければと思っております。あと、別に色々な方策のなかで、お願いしたりなんかしたりすると思えますけれども、そういったことも今申し上げた、郷土センターとスケートセンターの利用を促進していただければ有難いかなと言う風に思って、意見として申し上げさせていただきます。」

○事務局

「せっかくいただいたご意見ですので、現状の話として、少しだけお話しさせていただきますと、まず郷土センターにつきましては、私どもの方も委員と同じような認識を持っております。あそこの裏手に駐車場も整備して、かつ今の郷土センターの2階がうまく使われていないと言う状況も認識をしているので、実は、現在、日光の観光課が、東町のまちづくり活性化と言う視点も含めて、あそこの施設をどういう使い方が出来るのか少し検討してくれと言うことで、検討のお願いをして、少し動き始まっているところでございます。一義的にも観光施設ですので、資産経営課の方でという事ではないんですけれども、当課と日光の観光課で話をしながら、観光課の方で検討することになっておりますので、まあ少しずつですけども、動き始まっていると言うご認識を持っていただければと思います。それと、スケートセンターの方は、正に仰るとおりの話なんです、本当はそういったところを期待いたしまして、指定管理と言う手法を使っています。指定管理者が自主事業として使っていない時期に例えばイベントをやるとか、そういったところに期待をしているところではございますが、なかなかそこに至っていないという現状もございます。施設を所管する課が今後指定管理者と連携をとっていくことにはなっておりますけれども、現在の指定管理者、更には指定管理も期間が決まっておりますので、指定管理の期間が切れる再選定の際には、例えばそういうものをもう少し積極的に出来るようなもので、仕様書を作るとか、そういった工夫はしていきたいと思っておりますので、指定管理者制度全体の事務局は当課でやっておりますので、各課との相談もうちの方で聞きながらやっておりますので、その辺も担当課とも色々話をしながら、いただいたご意見を踏まえておきたいと思っておりますので、ご理解いただければと思います。」

○部会長

「今のお2人のご意見は、その他の3番位の事ですかね。

それでは、一応これで議事の(1)(2)は締めたいと思います。最後にアドバイザーの両先生からよろしく願いいたします。」

○山本アドバイザー

「一点だけ、ご意見伺って、意見が集約されて、提言されて、多分市が新たな動きになったんですけど、運用始まった段階で、始まって、先程も委員から意見ありましたが、ずっと後になって変わる可能性がいっぱいあるので、必ずその時見直しを色々検討すると言うことを提言書の中に入れていただければと思います。」

○西尾アドバイザー

「色々な意見があったなかで、今、山本先生からもあったように、今後運営の場面でどうしていくかといったことも含めての話というのも必要となってくるかなと思いますけれども、整備手法については、公民連携でやっていくよということだけを、今の提言の段階では決めたということだと思いますが、具体的にどうやっていくかと言うのは色んなやり方があります。民間に丸投げすることが公民連携ではありませんので、行政として、あるいは、市民としてここだけはこうしたいという事をきちんと公民連携のやり方の中でいれて設計して進めて行くことが大事なと言う風に思います。」

○部会長

「ありがとうございました。それでは、全体を通して何か委員さん方から何かございましたら。」

○部会員 9

「先程も委員から、以前にもお話しありまして、私も活字として提出してあるのですが、やはり郷土センターの利用の件なんです。あそこの入口の右側に旧日光の齋藤善三市長の時にようやくギャラリーを作っていた。その後観光協会の方と色々やり取りがあり、観光協会があそこを使うからと言うことで、その時私は別の場所にと言ったのですが、結局観光協会に負けてしましまして、現状のようになったのですが、では、我々が使うギャラリーはどうするのかと言ったら、上の展示室を使ってくれと言うことで、展示室を開放していただいた。でも、スポットが無いんです。それは当時の議員さんの要望でスポットが設置されたのですが、このスポットがおかしくて、作品に当たらないんです。それと壁として使う部分で、これは上から吊ると下に付いてしまうというような状態で、これは当時あそこにいた方をお願いしたら直しますと言ったまま、そのままなんです。しばらく使っていたら、前市長さんが来たので色々話をしまして、色々要望を手帳に書いてくれたのですが、その後は反映していないようです。それと、今あそこをお借りする時にいつも思うのですが、階段の高さが少し高いような気がするのです。だからお年寄りが上がって来れなくなってしまった。私達の仲間で立派な芸大を出た先生がいましたけれども、その人がまず入口から上がってこなくなってしまった。聞いたらなんでこんな高い階段を造ったんだという事で、そんな風なことで、お年寄りが見に来なくなってしまった。私が一日あそこの留守番をしても誰も見に来ないという事もあるんですが、色々聞いてみると、やはり階段が高くて、上に上るのがと言う話になってくるんです。そういったことも踏まえて、もし改良していただけるんだとしたら、もう少し上りやすい階段にしてもらいたいと思っています。それから真ん中に吹き抜けがあるのですが、これはどうもいらぬのではないかと思うんです。なんのための吹き抜けなのかわからないのですが、たまにガラスを開けて下からのエアコンの空気を入れて見たりするんですが、それとその周りには日光彫の工程が並んでいるのです

が、これがあちこち動いているので、私が整理して、また行くとごちゃごちゃに動いている。それから、あそこには日光下駄の実演の場所があったし、日光ゆばの製造の過程なんかの場所もあったんです。下に剥製なんかもたくさんあって、初めは良いものが出来たなと思っていたんですが、その剥製もどこか行ってしまった。先程事務局でも言っていました、使っていないんですね。我々ユネスコ協会で会議である場所を使わせていただいておりますけれども、展示する人と言うのは絵手紙の展示とか吊るし雛とかやっていますが、吊るし雛は潜って歩いて楽しむところではないんです。そういったことで、我々杉並木ギャラリーを使っておりますけれども、出来たらあの郷土センターをもう少し皆さんに使いやすいように東町活性化のために使わせていただけないかと思っております。一時賑わっていたのが、だいぶ使わなくなってしまって残念だなと思っております。もし、改良をしていただけるなら、そういった展示部門の日光の場所になればなと思っております。よろしくをお願いします。」

○部会長

「はい、ありがとうございました。それでは、これで、一応議題は締めたいと思います。委員さん方には色々5回に渡りまして、長時間お忙しいなか、本当にありがとうございました。とにかくあそこにあるものは我々日光市民にとって価値ある貴重なものでございますので、今後市の方におかれましても、あそこがより良く利用出来れば有難いかなと思います。それから、アドバイザーの先生方本当遠方からありがとうございました。それでは、市の方にお返しします。」

○安西部長

「部会長ありがとうございました。皆様方にも活発なご意見ありがとうございました。本日いただきました意見、この提言書という形で本日の意見を加えて岸野部会長、千田副部会長と調整した上でまた皆さま方にお知らせしていくという形で提言書をまとめて行きたいと思っております。それと、まとまった提言書に基づきまして実際の事業展開に繋げていく訳ですが、今日も出ていましたけれども、民間のアイデアそういったものをうまく活用する術も残しておきたいということで、改めまして、今回の提言を受けた形でのサウンディングといったものもまた検討していきたいと思っております。そういった際にはまた皆さま方にも意見交換と言いますか、そういった場を設けていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくおねがいたします。とりあえずこの形での会議は今日で終わりにさせていただくという事で、後は提言書の確認とその後、進捗に合わせた情報の提供その際の意見交換という形で進めていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくおねがいたします。本当にありがとうございました。」

以上